

# 人文科学研究所研究叢書

## 29.『ツァロートの道 ユダヤ歴史・文化研究』

2002年3月30日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,700円（税別）

ISBN 4-8057-4207-0

まえがき	
<b>第一部 啓蒙の可能性</b>	
モーゼス・メンデルスゾーン —啓蒙されたモーセ	平山 令二
十八世紀ドイツにおけるユダヤ人像の変容	飯森 伸哉
いとも幸福な出会い —ジャン・パウルとユダヤへの小さな散歩	飯塚 公夫
<b>第二部 繰り返される試練</b>	
異教的反ユダヤ主義 —L・クラークスの思想と反ユダヤ主義	田島 正行
ナチ体制下の反ユダヤ主義 —立法政策を中心として	白根澤 正士
ソビエト・イディッシュの運命 —1920年代ソビエトの現場から	高尾 千津子
<b>第三部 内なるツァロート（苦難）</b>	
カール・クラウスにおける「ユダヤ性」 —ディアスポラ・アイデンティティの戦略としての諷刺パフォーマンス	河野 英二
ヨーゼフ・ロートの手紙 —シュテファン・ツヴァイクにかかわらせて	相馬 久康
二人のユダヤ人作家 —フランツ・カフカとヘルマン・ブロッホ	入野田 眞右
アメリーを読むツェラーン	北 彰
<b>第四部 表現の模索</b>	
イディッシュの結婚式におけるクレズマ楽士	牧野ウーヴェ
マルク・シャガール —シュテトルに育まれた絵画	伏谷 幸子
ヴィクトル・ウルマンとテレージエンシュタット —あるいは、収容所のなかの「死の舞踏」	小林 正幸
ルイス・モロー・ゴッチョーク —アメリカのユダヤ／クレオール系作曲家	黒田 晴之
<b>第五部 ヘブライ語</b>	
ヘブライ語関係詞の推移について	植田 兼義
人名索引	